



意外と身近に!

私たちのまちで暮らす外国の仲間たち

-11月は「あいち多文化共生月間」-



県では、多文化共生社会の形成による豊かで活力ある地域づくりを進めるため、2013年に11月を「あいち多文化共生月間」と定めました。

県内には全国で3番目に多い35万7,800人の外国人住民が暮らしており、県人口の約5%を占めています。多くの外国人住民が地域に定住し、生活しています。市内には、1,491人の外国人住民が暮らしており、地域で働く人、子育てをする人、学校に通う子どもたちなど、一人一人が新城市の大切な仲間です。

国籍や文化、言葉の違いを認め合い、誰もが安心して暮らし、活躍できる状態を「多文化共生」と言います。11月の「あいち多文化共生月間」をきっかけに、身近な地域で暮らす外国人住民の皆さんのことや、市の取り組みについてお知らせします。

※人口については、法務省「在留外国人統計」2025年12月末現在のデータです。



国籍多い順（新城市）

（人）

1位	ブラジル	505
2位	ベトナム	365
3位	フィリピン	210
4位	中国	92
5位	インドネシア	85

問合せ 市民自治推進課（Tel.23-7697）

市では、2024年に「新城市多文化共生推進プラン」を策定し、2028年までの5年間、さまざまな施策を実施していますのでご紹介します。

日本語を学び、地域とつながる

日本語教室では、日常会話や日本語能力試験に向けた学習を、レベルに応じた少人数クラスで行います。初期日本語教室では、全く日本語を話せない人を対象に、買い物や病院、災害時など生活に必要な日本語を会話形式で行います。



多文化交流

毎年夏に行われるミニリンピックでは、国籍や言葉の異なる市民が体を動かし交流します。多文化親子ふれあいひろばでは、遊びや人形劇を通じて親子がつながります。違いを越え、子どもも大人も新たな出会いを育む場です。



言葉や文化を越えて、支え合い笑顔あふれるまちへ



安全・安心な暮らしを

外国人住民を対象に、防災・交通安全講座を実施しています。避難場所や災害情報の確認方法、自転車・車の交通ルールなど、命と安全を守るために必要な情報を分かりやすく伝えています。



困った時の相談窓口

外国人相談窓口(本庁舎1階)では、生活の困り事や行政手続きの相談に、ポルトガル語・スペイン語で対応します。毎月、ブラジル人心理士によるポルトガル語心理相談も実施し、心の悩みや子育て、教育などの相談を受け付けています。



毎開庁日 9:00～16:00

その一言、もっと伝わる! -「やさしい日本語」を使ってみませんか?-



生活オリエンテーション動画 市の公式YouTube



新城市で暮らすために必要な情報をやさしい日本語で紹介する動画を公開しています。ぜひやさしい日本語の参考にしてみてください! また、市民の皆さんも動画を参考にルールをお伝えください。

やさしい日本語のほか、英語・ポルトガル語・ベトナム語・タガログ語・中国語で紹介しています。

やさしい日本語



English



Portugues



Tieng Viet



Tagalog



中文



やさしい日本語の手引き

県では、「やさしい日本語」を広めるために、楽しく気軽に学べる「やさしい日本語の手引き」を公開しています。ぜひ参考にしてください。

詳しくはこちら▶



外国人と話す時、一生懸命、英語で伝えようとしていませんか。しかし、日本で暮らす外国人の中には、英語よりも簡単な日本語を理解している人も多くいます。

そこで役立つのが、やさしい日本語です。やさしい日本語とは、「難しい言葉を避け、短く、分かりやすく伝える日本語」のことです。外国人だけでなく、子どもや高齢者、障がいのある人など、さまざまな人に分かりやすく伝える方法でもあります。

やさしい日本語のコツ

(1)短い文で伝えます

1つの文で1つのことを伝えましょう。
「ここに名前と住所を書いてください。」

(2)いつを明確にします

「すぐに」、「はやめに」→「5分以内に」

(3)あいまいな表現や難しい言い方はしない

「避難してください」→
「安全な場所へ逃げてください」
「原則」→「できるだけ」
「少し」→「5分くらい」
「記入してください」→「書いてください」

(4)専門用語でも、よく使う言葉はそのまま使う

「余震」「避難場所」など、災害時によく使う言葉はそのまま表記してください。言葉の後に()で囲って、言葉の意味を補足したり写真や絵などを使ったりすることも効果的です。

挨拶をする。ゆっくり話す。分からない様子の時は「大丈夫ですか」と声を掛ける。文書で渡す時は「ふりがな」を付ける。そんな小さな行動が、安心して暮らせる地域につながります。

日本語ボランティアを随時募集中!

やさしい日本語で、外国人市民に日本語を教えてくれるボランティアを募集しています! 資格不問! 英語などを話せなくても問題なし! ぜひご参加ください、見学も大歓迎です。

はじめての
日本語教室

日にち▶ 11月7日~1月30日

毎週土曜日10回

時間▶ 10:00~12:00

場所▶ 新城まちなみ情報センター2階

日本語
教室

日にち▶ 毎週水曜日

時間▶ 19:30~20:50

場所▶ 新城まちなみ情報センター2階

小さな頃に通ってくれたお子さんがこんなに大きくなりました!

すめれ
未玲ちゃん
12才



こうしろう
琥士郎くん
15才



いつでも、隣に しんしろ助産所

気軽に悩みを相談できる
場所があるって心強い

ゆの
結乃ちゃん
10才



よう
陽くん
8才



こう
昊くん
7才



2011年、この地域に出産施設がなくなったことをきっかけに、しんしろ助産所は開設されました。現在までに119人の赤ちゃんが誕生し、最初に産声を上げた赤ちゃんは今では中学3年生です。

その後、産後ケア事業やいのちの授業など、地域や時代のニーズに応じて緩やかに、しなやかに取り組みを広げてきました。しかし、その根本である「寄り添う姿勢」は変わりません。これからも「いつでも、隣に」しんしろ助産所は寄り添い続けます。

しんしろ助産所は
今年で15周年を迎えました

問合せ しんしろ助産所(Tel.32-1050)

ホームページID 631722697

しんしろ助産所は市が運営する公設の助産所です。
初産・経産・居住地を問わず利用できます。初めての方も大歓迎!

利用者さんに聞きました!

産後ケア(デイ)利用者

いとう えみ こ

伊藤江美子さん(黒田・30代・経産婦)

「自分を大切にすることが持てました」



知らず知らずのうちに
我慢していることも多いはず。
たまには周りに頼って、
自分を大切に。



最初に保健師さんから紹介してもらったのがきっかけです。上の子のときは家族の助けもあり利用しませんでした。2人の子育ては想像以上に忙しくて…。家族との生活バランスを考えて、産後ケア(デイ)利用を選びました。

特に食事が印象的で、栄養たっぷりボリュームもあって、愛情が感じられる料理でした。クリスマスの時期に出たレンコンの飾り切りがあって、「わあ、すごい!」と感動しました。自分ではそのように料理する余裕がありません。小さなことかもしれませんが、「自分も大切にしてもらえている」と感じました。



産後はゆっくり療養してね

産後は心身ともに不安定になりやすく、毎日の子育ては大変なもの。そんなお母さん達の助けになればと思っています。実家に帰ったつもりで安心して過ごしてね。

産後ケア(宿泊)利用者

やまもと あやほ

山本紋歩さん(沖野・30代・経産婦)

「体を休めることは、
家族のためにも大切」



体をしっかり休めたくて利用しました。家族の助けはありましたが、産後はやはり体力的にきつく、休息が必要だと感じていました。上の子が2歳半、下の子が生後3か月の頃に産後ケア(宿泊)を利用しました。

赤ちゃんを預かってもらい、一晩ぐっすり眠ることができ、本当に助かりました。睡眠が取れたことで気持ちに余裕ができ、子どもにも穏やかに接することができました。家族のリフレッシュにもなったと思います。上の子を連れての利用が心配でしたが、2人を自宅で見るとより楽でした。

親の体が元気でいることが、
子育てを続けていく上で
何より大切だと思います。



他にも、たくさんの方が利用されています！

母乳外来利用者

Mさん(30代・初産婦)
「悩んでいるならまず
相談してみしてほしい」



悩みをまずは
相談してみしてほしい。
赤ちゃんとの大切な時間を
もっと楽しめると思っています。

母乳の詰まりに悩んでいましたが、待ち時間が長く、すぐに相談できないところが多くて…。しんしろ助産所の母乳外来を知り、連絡したのが始まりです。

あたたかくてアットホームな雰囲気でした。親身になって話を聞いてくださり、とても安心できました。母乳マッサージだけでなく、授乳の姿勢や飲ませ方を丁寧に教えてもらい、「母乳だけにこだわらなくてもいい」という言葉で気持ちが楽になりました。おっぱいのことで頭がいっぱいで、育児を楽しむ余裕がなかったので、早く相談すればよかったです。



産科オープンシステムを利用した出産をサポート

基本的な妊婦健診はしんしろ助産所で、出産は設備と医療体制の整った聖隷三方原病院の院内助産所で行います。助産所のぬくもりと病院の安全性を併せ持った出産が可能です。ご本人とご家族が安心・安全で満足できる出産となるよう、私たちがサポートします。人生で幾度とない大切なその瞬間を、ご家族とともに安心して迎えませんか。

出産利用者

Fさん(川路・30代・経産婦)
「助産所でも出産利用できることを
知ってほしい」



自宅から近く、安心して通えることが決め手でした。1人目の出産からお世話になっています。夫婦で説明を聞きに来て、「ここなら安心して出産できそう」と思い選びました。

スタッフとの距離が近く、気軽に相談できました。同じ助産師さんが継続して関わってくれたので、妊娠中や産後に気になること、病院へ行くべきか迷うような内容でも相談できました。出産が近づいた時も慌てることなく対応してもらえて心強かったです。出産後も継続して関わることができる場所だと思います。

出産場所の選択肢の
1つとして知って
もらえたら
うれしいです。



妊娠中から子育てまでトータルでサポートします!

イベント・各種教室

※個人・グループ受付可



ベビーマッサージ(Sさん)

マッサージをしながら声を掛けると赤ちゃんが反応してくれて、その反応を見ているだけでも私が癒されました。



哺乳量測定・体重測定(Iさん)

子どもの体重があまり増えない時、母乳の飲みが悪くなった時など、定期的にアドバイスをもらい体重の伸びも良くなりました。



産後ヨガ(Oさん)

体をほぐすだけでなく、気持ちをリフレッシュすることができます。毎回楽しい時間を過ごしています。

赤ちゃんふれあい体験



いのちの授業



＼こんなこともやってます／

- マタニティヨガ
- 骨盤底筋ケア
- 育児相談
- 職場体験
- 2週間健診
- お出かけ講座
- プレコンセプションケア
(妊娠前からの健康管理)
- 更年期相談
- 祖父母教室
- 子どもの救急講座



しんしろ助産所の概要

開所日 ▶ 月～金曜日(祝日・年末年始を除く)・第3日曜日

時間 ▶ 8:00～16:45(受付8:00～16:30)

場所 ▶ 新城市長篠字日焼9番地2(「児童館たんぽぽ」横)

アクセス ▶ 車:国道151号長篠交差点を北へ約400m

電車:JR飯田線本長篠駅から北へ徒歩約7分

連携医療機関 ▶

聖隷三方原病院

問合せ ▶

Tel 32-1050

メール josana@city.shinshiro.lg.jp

